

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170300406		
法人名	(有)ハートコネクト		
事業所名	グループホーム さくらの樹		
所在地	〒841-0005 鳥栖市弥生が丘4丁目22番		
自己評価作成日	平成24年10月17日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成24年11月16日	外部評価確定日	平成24年12月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>『楽しいわが家 明るい家族』を目指して、いつも明るく笑顔が絶えない家庭的な施設を目指しています。いつまでもその人らしく残りの人生を過ごされる様にご家族とも相談しながら、また、普段の生活で得た情報も職員間で共有し、出来る事出来そうな事を職員の支援や職員と一緒にやる事で喜びを感じて頂けるように心掛けています。毎週の往診と24時間対応可能な協力医と共にターミナルケアも実施しており、人生の最期の支援をさせて頂く事の重大さもご家族の方と毎回職員全員で共有しています。恒例となっている行事ではその方の誕生日当日に行う誕生日会や季節の行事には近隣の方やボランティアの方々を積極的に受け入れて一緒に楽しんで頂いており、ランチ外出やお花見外出も皆さんの楽しみの一つとなっています。毎日の食事朝食は一汁二菜、昼食夕食は一汁三菜と旬の野菜を取り入れ彩りも工夫しています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>鳥栖市の北東部に位置する新興住宅地の一角の、平屋造りのグループホームで、西に国道5号線、東のJR弥生が丘からは徒歩10分程で交通の便もよく、近くには病院や公園、保育園、小学校、飲食店等が点在している。近隣者は、事業所に多大の理解をされており、野菜や花等を頂いたり、ホームの草取りを手伝っていただく等、地域との交流がなされている。又、火災避難訓練にも参加され、非常時の連絡網にも協力をいただいている。職員は、基準より多く配置をしており、利用者一人ひとりの思いと本人のペースに応じた支援を行っている。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「皆様と共につくる 楽しい我が家・明るい家族」と理念を掲げ、管理者や職員は毎月の全体会議でも理念を読み上げ確認し合い、日々の業務の実践につながっています。	地域の中で地域の方々と一緒に安心して暮らしていけるような環境づくりを目指しており、地域密着型サービスの役割を踏まえた理念をつくり上げ、管理者は職員と共有している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	誕生日会、クリスマス会、行事等でボランティアさんや保育園の園児さん、小学校の生徒さんも多く来訪され、地域との日常的なつながりが出来ています。	ボランティアの受け入れをしたり、保育園児の訪問があったり、小学校の2年の授業の一環での来訪がある等、幅広い交流をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	相談や見学来訪時には、いつでも丁寧に対応する事を心掛けています。また、「こども110番の家」でもあり、いつも開放的な施設であるように努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族代表、区長様、地域包括支援センターの担当者様、ボランティア様等多方面の方々に消防訓練からの参加もして頂いており、利用者さまの状態も十分に分かって頂き、さまざまな意見も頂いています。	運営推進会議の開催が年度当初に開催され、その後開催されていない。	運営推進会議は、外部の人々の目を通して事業所の具体的な改善策を話し合ったり、地域の理解と支援を得るための貴重な議会であることから、定期的開催されることを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課やグループホーム協議会など日常的に情報交換や必要に応じて相談し助言等協力を頂く関係も出来ています。	介護保険証の更新や入居者状況報告書提出時に相談したり、助言をもらう等協力を頂いており、また、グループホーム協議会では、情報交換や研修を行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のマニュアルを作成しており、マニュアルに沿って身体拘束に関する勉強会などを全体会議でも行っています。玄関の施錠はもちろん言葉による精神的な拘束にも十分注意しています。	職員は、身体拘束をしないケアを理解しており、安全に配慮しながらのびのびとした生活が出来よう支援している。日中は玄関や全ての出入り口を解放的にしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的精神的にも、些細な事でも言葉使いや接し方なども日頃から注意を払っています。見過ごされる事の無い様に職員同士で話し合う様にもしています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、安心サポートを利用されている方はおられますが、今後さらに必要性が出てくると思われるので、いつでも情報を提供出来るように体制を作っていきたいと思っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の契約内容等はもちろん、改定等があればその都度丁寧に説明する事を心掛けており、同意書まで頂いています。その後も不安や疑問等が無いが再確認もしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に苦情申し立て窓口の説明を書面で行っています。ご家族の面会も多く、利用者様同様、日常的な会話の中からでも意見や要望を聞く機会をつくり、話しやすい雰囲気づくりに努めています。	職員は、利用者とは積極的に会話を楽しんでいる。家族の面会も頻繁にあり、入居者の日常を報告したり、意見や要望を表しやすい環境づくりをし、出された意見は、運営に反映させるよう努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	普段から相談しやすい環境づくりを心掛けており、意見などあれば協議、検討出来るように「ケース検討議案書」を準備して、いつでも利用できるようにしています。また、毎月1回夜間に全員参加の全体会議を開催しており、全員で話し合う機会も設けています。	代表者と事務長、管理者は常にメール交信で状況の共有を図り、諸問題の解決の迅速化をしている。職員の組織は主任制で、月1回の全体会議は、参加しやすい夜間に実施しており、全職員に提出させた「ケース検討議案書」を協議・検討したり、運営に関する意見や要望を聞く機会を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	出来る範囲で勤務希望に添えるようにしており、またそれぞれの特技を活かせるようなシフト体制になるように努めています。年に2回は代表者との食事会、昇給や賞与も給与規定に基づき充実しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修に関しては都度公表して参加を募っています。研修も勤務扱いにする事でより参加しやすい様に努めています。内部的にも日頃からシフトを工夫してスタッフ同士での資質向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会等に入会しており、日頃から相談連絡出来る関係作りに努めており、サービスの質の向上に活かしています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居され間もなくは特にご家族の協力を得ながら積極的な関係作りに努めています。その中でご本人に必要な支援を見極め、早期に安心を確保される様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居の相談の段階でもご本人ご家族の状況や要望、気持ちを理解できるように努め、早期に安心と信頼関係が出来るように心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている支援はご本人ご家族はもちろん多方面の関わりのある方からも情報を頂き、早期の対応がスムーズにいくように努めています。他のサービスの利用も十分に検討して取り入れています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩でもある利用者様には教えて頂く事も多く、日々の生活の中でも役割を持って頂いたり、教えて頂く場面も出ています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との絆を大切にすることも、いろいろと相談させて頂いたり、ご協力も頂いています。終末期や面会時には食事介助を積極的にやって下さったり、一緒に居室で過ごす時間を作ったりもしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも来訪して頂ける環境を心掛けています。また、どの職員でも様々な方々の来訪にも対応出来るように個人記録に関係等を記す様にしています。	友人や馴染みの方々の訪問や面会も多く、リビングや居室でゆっくり寛いでいただく配慮をしている。又、利用者全員で地域へ花見(コスモス・紅葉・桜)やレストランや寿司屋での昼食会に出掛けて、馴染みの場所等の関係を保っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様それぞれの性格や身体の状態を把握して、テーブルの席を配慮したり、利用者様同士いい関係になるように職員が介入したりしています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご入院中の方のお見舞いやその後の相談支援、ご家族や先方に電話での経過をお尋ねしたりと関係の継続に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人への理解をさらに深める為に、日々の関わりの中で得られた情報や表情等は記録に残し、たくさんの情報の中で支援の内容を検討していけるように努めています。	職員は、日々の関わりの中で常に利用者へ声かけや問いかけをして、わずかの反応や表情から意思を汲み取り、一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向の把握に努めて支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居時には出来るだけ多くの情報を得られるようにご家族や関係者の方々に聞き取りを行い、継続した生活が出来るように努めています。また、普段の生活の中で得られた情報等も漏れの無い様に記録に残す様に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	時系列式の個人記録を使用して、利用者様の1日の生活内容の把握や気持ちの変化も5段階に分けて記入し、常に職員間で情報を共有出来るようにしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	近況は毎月のホーム便りやご家族の面会時に報告しています。ご本人ご家族にも普段から意見や要望もお尋ねして、より良く生活出来るように申し送りや会議等で職員間で話し合い、介護計画を作成しています。	本人及び家族の希望や意向を確認し、職員や関係者でも話し合い、本人本位の介護計画を作成している。介護計画は定期的に評価と見直しを行い、状態に変化が生じた時には速やかに見直し、現状に即した計画で支援している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の個人記録には当日勤務の職員は全利用者様それぞれの記入をする事で様々な気づきを得られるようになっており、日々のケアや介護計画に活かす様に努めています。また、1人の職員が色々な時間帯に勤務して利用者様の時間帯での変化にも気付けるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	様々なニーズにいつでも柔軟に対応出来るように、職員の配置にゆとりを持たせています。ご本人ご家族とも相談して他職種の支援も取り入れています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様の知人、昔からの友人、町内の保育園や小学校、近隣のボランティアさん等、多方面からの訪問があっており、利用者さんの楽しみの一つにもなっています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在、ご家族のご希望により1名の方が以前からのかかりつけ医への受診をされています。また、24時間対応の訪問診療は毎週火曜日の往診もあり、ご家族の立会い説明や相談もいつでも可能な体制にしており安心して頂いています。	以前からのかかりつけ医の受診希望者は1名で、他8名の方は、週1回の訪問診療による診察を受けている。看護師・薬剤師・音楽療法スタッフが揃って往診診察されており、連携もとれている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場の看護師や訪問診療の看護師に、少しの気づきや情報も伝え相談し日々のケアに活かしています。また、早目の連絡で毎週の往診時にも対応出来る体制にもなっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の不安を少しでも軽減できるように、職員は出来る限り面会するように努めています。また、早期退院の為に入院中はもちろん、日頃からソーシャルワーカーの方との情報交換にも努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居時には施設で可能な終末期ケアの説明とご本人ご家族の終末期の意向を伺っています。早期より希望に添える生活を送れるように、終末期には主治医、ご家族との話し合いを繰り返し、日々変化される状態にも記録物や申し送りでの統一に努めています。	本人及び家族の希望や意向を確認し、重度化や終末期のあり方を決めているが、安心して納得した最期を迎えられるよう、随時意思確認をしながら取り組んでいる。これまで希望により4人の看取りを実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に救命救急士による心肺蘇生術、AED操作の講習を行って頂き、職員全員が実習出来るように時間も十分とっています。また、いつでも確認出来るように対応マニュアルも準備しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回消防署の指導により夜間を想定した避難訓練を行っています。その際は近隣の方への参加案内をして、実際のご近所の方、区長さん等の参加も頂いています。また、ご厚意により、近隣の方の連絡網も作って頂いています。	年2回消防署の指導により、夜間を想定した避難訓練を行っている。訓練には近隣住民の参加も得られている。また、近隣からは、緊急連絡網の申し出もあり、協力が得られている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に人生の大先輩として人格を尊重した声掛けや対応をするように日頃から心掛けています。毎月の全体会議では場面場面での具体的な声掛けの仕方について学ぶ機会を作っています。	職員は、利用者を常に人生の大先輩として一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない対応に心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	いつでもご本人の希望を最優先出来るように優しい雰囲気作りと、利用者様の能力に応じて意思表示しやすい声掛けの工夫に努めています。また、表情等でも感じとれるように日頃からの様子や会話も記録に残しケアに活かしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな一日の流れはありますが、お一人お一人の以前からの生活のペースを大切に過ごして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴前のご希望の衣類を選んで頂いたり、毎朝の日課としてお化粧の支援もしています。定期的な訪問理美容を利用して好きな髪型、カラーやパーマ等希望される方もおられます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の能力に応じて、下ごしらえ、つぎ分け、食器拭き等それぞれに出番があります。また、キッチンで声掛けしながら一緒に過ごす事で食事作りに参加している気分も味わって頂いている利用者様もいます。	利用者の能力に応じて出来る事を手伝いながら、キッチンの周りに集い、準備をし、季節の感じられる食事を楽しんでいる。テーブルには一人ひとりの水筒を配置し、水分摂取量が分かるように工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は毎食後、水分摂取量は毎晩チェックし、利用者様の状態の把握に努めています。食事形態も個々に合わせてミキサーやトロミを検討したり、水分食事が摂りにくい方はポカリや栄養補助食品の利用も行っています。テーブルに個人用の水筒と湯飲みを準備し、いつでも水分摂取出来るようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後利用者様に応じた口腔ケアを行っています。義歯は定期的に洗浄液に浸漬して清潔保持にも努めています。いつでも訪問歯科の利用も可能で丁寧な診察して頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中は全ての利用者様にトイレ誘導を行っています。排泄チェック表を活用して個人個人の排泄パターンや尿量を把握して、失禁予防にも努めています。	日中は、個人個人の排泄パターンを把握してトイレ誘導を行い、自立に向けた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には排泄の度に腹部マッサージを行い、また、日頃から旬の野菜を取り入れた食事の提供と水分を十分に摂って頂ける様に各入居者様専用の水筒を準備していつも目のつく場所に置いて飲んで頂く様にしています。また、運動不足にもならない様に毎日の散歩やレクで体操も行っていきます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	当日の体調や希望に応じて入浴して頂いています。職員と1対1で衣類選びから入浴、入浴後は爪切り等のケアも行いゆっくりと会話も楽しんで頂く時間になっています。	隔日毎の入浴としているが、体調や希望に応じて入浴できる。一人ひとりの入浴時間をたっぷり取っているため、リラックスして種々の話題となり、利用者の意向が伺える。毎日曜日は官足法(足もみ)を実施して、喜ばれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居前の生活習慣を崩さない様に配慮しています。また、夜間の睡眠に支障の無い様に状況に応じて日中はリビング横の和室での休憩も取り入れています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用中の薬に関しては利用者様毎にファイルして職員がいつでも確認出来るようにしています。服薬介助時には誤薬の無い様に職員2名で確認し合い、また、毎週来訪される薬局の先生にもさらに詳しく内容の説明や質問等出来る体制になっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの生活歴や趣味を把握して、出来るだけ生活の中に取り入れるように努めています。役割となり、生きがいがいになっておられる方もいます。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に排泄の後に遠回りしてサンデッキのお散歩を行ったり、毎月恒例の全体外出はレストランでのランチや季節のお花見など、利用者様の楽しみの一つになっています。	日中は、施設の居室の外周りのサンデッキを散歩コースとして、遠回りをして居室に帰っている。毎月の行事は、全体外出を決めており、季節の花見やレストランでのランチの楽しみ等支援している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が困難な方が多いですが、少額でもお金を持つ事で安心される方には、ご家族と相談の上で所持して頂いています。外出時は支払いをやって頂く様にも努めています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族へ年賀はがきを送ったり、遠方のご家族からの贈り物にはご本人からお礼の電話をして頂いたり、やり取りが続くように支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な環境づくりを心掛けています。リビングでは料理中も利用者様とコミュニケーションを図れるようなキッチンの配置で自然とキッチン周りに集まって会話を楽しんで頂いています。また、季節に合わせた飾り付けやご家族持参のお花で季節感を味わって頂いています。	リビングには高床式の6畳のたたみの居間があり(舞台にもなる)、設えや調度も家庭的で、対面式のキッチンからは利用者の見守りができる。居室も明るく、安心して過ごせる雰囲気である。家族からの花のプレゼントが絶える事がなく、飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング、ソファ、キッチン前、和室等利用者様それぞれに心地良い場所が出来ています。利用者様同士時々トラブルになりそうな時は早めに職員が介入したり、席の配置を検討したりして工夫しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設的にならない様にチェストやベットは各居室で違うタイプの物を用意しています。また、安心して生活される様に馴染みの椅子、写真や小物も持参して頂いたり、施設で撮影したご家族との写真も飾ったりして心地良く過ごされる様に工夫しています。	ベットやタンス、チェストは施設で部屋毎に違う物を用意しており、希望により時々部屋替えをしている。椅子や小物や写真等は馴染みの物を積極的に持参して頂いている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家庭的な雰囲気を損なわない様に居室やトイレ浴室など分かり易く配置しており、施設内は安全に自立支援が出来るように遠目でも見守りしやすい造りになっています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない